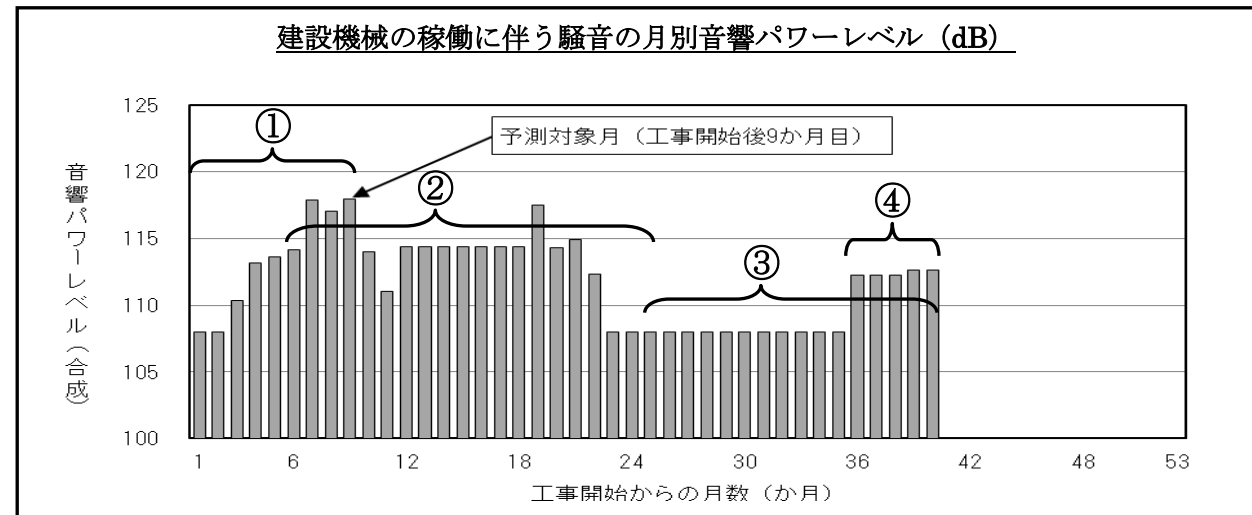


西名古屋火力発電所リフレッシュ計画に伴う知多第二火力発電所構内での燃料ガス導管工事状況について

燃料ガス導管工事の工程

工 事	工事ステップ	工 種	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目	
			6	12	18	24	30	36	42	48
海 底 シールド トンネル 工 事	①立坑工事	準備工	(4)							
		立坑掘削	(3)							
		地盤改良	(2)							
	②シールド トンネル工事	シールドトンネル 掘削設備工事	(6)							
		トンネル掘削		(8)						
		後片付け			(6)					
燃料ガス 導 管 敷 設 工 事	③ガス導管 敷設工事	ガス導管敷設					(16)			
	④トンネル 中詰工事	中詰材充填						(5)		
		立坑埋戻し							(2)	



○人員 30 人/日程度 (最大 約 60 人程度)
○車両 25 台/日程度 (最大 約 100 台程度) ※工事用資材等の搬出入及び通勤車両台数。

工事ステップ毎の工事状況

工 事 ステップ	①立坑工事 (9 ヶ月)	②シールドトンネル工事 (20 ヶ月)	③ガス導管敷設工事 (16 ヶ月)	④トンネル中詰工事 (5 ヶ月)
工事概要	シールドマシンを地中で発進するための立坑を構築する。 立坑周囲に土留壁を構築しながら、内部の土を掘り立穴を構築する。 立坑完成後、立坑周辺の地盤改良を行う。	シールドトンネルを掘削する設備の整備を行い、立坑内にシールドマシンを搬入する。立坑から発進後、シールドマシンにより地盤を掘削し、セグメントを組立てながらトンネルを構築する。 トンネル完成後、掘削設備の撤去等の後片付けを行う。	立坑からガス導管 (12m/本) を吊下し、トンネル内に管を搬入、溶接→検査→塗覆装の順にガス導管を敷設する。	ガス導管を敷設したトンネル内を、中詰材 (エアモルタル) で充填する。 立坑は土砂等で埋戻す。
状況写真				
主な 建設機械 の 稼働状況	○準備工 (2 台程度) ・クレーン: 1 台 ・バックホウ: 1 台 ○立坑掘削 (6 台程度) ・クレーン: 2 台 ・バックホウ: 2 台 ・ダンプトラック: 2 台 ○地盤改良 (2 台程度) ・クレーン: 1 台 ・ボーリングマシン: 1 台	○シールドトンネル掘削設備工事 (7 台程度) ・クレーン: 1 台 ・バックホウ: 1 台 ・ダンプトラック: 5 台 ○トンネル掘削 (7 台程度) ・バックホウ: 3 台 ・ダンプトラック: 3 台 ・門型クレーン: 1 台 ・泥水処理プラント: 1 式 ○後片付け (2 台程度) ・クレーン: 1 台, バックホウ: 1 台	○ガス導管敷設 (1 台程度) ・クレーン: 1 台	○中詰材充填 (1 台程度) ・クレーン: 1 台 ・エアモルタル混合プラント: 1 式 ○立坑埋戻し (5 台程度) ・クレーン: 1 台 ・バックホウ: 2 台 ・ダンプトラック: 2 台

対象事業実施区域と主な工事区域

